

グンゼラブアース倶楽部

2019年度 活動報告



明日をもっと、**こ**こちよく

GUNZE



『グンゼラブアース倶楽部』は、2006年4月、グンゼ株式会社の創立110周年を記念し設立され、2020年度で15年目となりました。社会貢献活動を行っている団体への支援などを通じてお互いが支え合い、より良い社会づくりを実現する仲間になりたいと活動を継続しております。

引き続き、共通価値の創造(CSV)に向けて、グンゼの本業の製品やサービスを活かした持続可能な支援を充実していきたいと考えておりますので、これからも皆様からのあたたかいご支援をお願いいたします。

2020年 6月

代表幹事

佐口 敏康

CONTENTS

活動報告

activity report

2019年 活動内容 / 決算・監査報告 / 支援先選定について

P2

支援先紹介

Support place introduction

認定特定非営利活動法人 日本クリニックラウン協会

特定非営利活動法人 国境なき子どもたち (KnK)

特定非営利活動法人 ロシナンテス

特定非営利活動法人 AMDA(アムダ)

公益社団法人 Civic Force (シビックフォース)

認定NPO法人 J.POSH (ジェイポッシュ)

特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

一般財団法人 みらいこども財団

大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 みどり企画課

計10団体

P4

その他CSR活動

corporate social responsibility

災害支援(令和元年台風第19号) / 大阪市との包括連携協定を締結

文化・スポーツ振興プロジェクト / 御堂筋におけるイチョウの供給などに関する協定

里山保全活動 / 福島復興支援 / ピンクリボン活動 / グンゼの肌着教室

「京都府の移住セミナー」会場提供 / もったいない活動 / 国連グローバル・コンパクト

オレンジリボン運動 / シングルマザーの応援フェスタ

P13

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会員募集	A会員												
	B会員												
実施項目		会計監査		会報発行	運営委員会 支援先選定			寄付金支援先へ 振り込み	物品支援先へ 発送手配				会計確認
もったいない活動													

(単位:円)

収入の部	
項 目	金 額
前期繰越金	659,493
当期収入	
活動資金(A会員)	1,014,500
活動資金(B会員・賛助会員)	6,000
預金利息	6
当期収入計	1,020,506
収入計	1,679,999

支出の部	
項 目	金 額
支援先への寄付	984,341
寄付金振込手数料	2,947
残高証明証手数料	1,080
支出計	988,368
※次期繰越金	691,631

(单位:円)

資産の部	
科 目	金 額
預け金	691,631
資産計	691,631

負債・剰余金の部	
科 目	金 額
次期繰越金	691,631
負債・剰余金計	691,631

2019年度 グンゼラブアース倶楽部 会計監査報告

ゲンゼラブアース倶楽部会則25条に基づき2019年度ゲンゼラブアース倶楽部の決算にあたり、会計監査を実施し、関係書類を監査した結果、決算書のとおり、その処理が適正かつ正確であったことをここに報告いたします。

監査委員

氏名 中山佳則 

氏名 高山新 

■支援先団体の選定について

2019年6～7月にA会員様を対象に支援先に関するアンケートを実施。その結果を受けて7月22日に運営委員会を開催しました。

運営委員会ではアンケート結果をもとに、CSV(Creating Shared Value)の観点から、本業の製品やサービスで支援できる支援先を優先し、10団体を決定。交渉の結果10団体への支援を実施しました。

実施期間：2019年6月28日～7月16日

対象者：グンゼラブアース倶楽部A会員205名中
グループウェアID所有者198名に配信

回答総数：112名 ※(前年) 83名

回答率：56.6% ※(前年) 44.9%

本年もご協力お願いします。

■支援先団体について(計10団体)

2019年度は6団体へ10～20万円の寄付と、6団体へ10万円～20万円相当の肌着・ソックス・苗木を寄贈しました。

支援先	支援回数	寄付金 支援(円)	物品 支援(円)
認定特定非営利活動法人 日本クリニクラウン協会	13回目	200,000	
特定非営利活動法人 国境なき子どもたち(KnK)	13回目	200,000	
特定非営利活動法人 ロシナンテス	13回目	100,000	100,660
特定非営利活動法人 AMDA(アムダ)	10回目		197,400
公益社団法人 Civic Force(シビックフォース)	8回目	200,000	
認定NPO法人 J.POSH(ジェイポッシュ)	5回目	100,000	101,640
特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル	4回目		200,200
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	3回目	200,000	
一般財団法人 みらいこども財団	2回目		200,720
大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 みどり企画課	2回目		80,000
合計		1000,000	880,620

本業を活かした持続可能な支援(CSV)という方向性に基づき、2019年度も、単なる寄付ではなくグンゼの事業やサービスを有効に活用した支援先6団体を含む10団体への支援を行ないました。会員の皆さま、誠にありがとうございます。今後も会員の皆さまの意見をいただきながらよりよい支援活動ができるよう運営して参ります。これからも皆さまからの変わらぬご支援をお願いいたします。

グンゼラブアース倶楽部 事務局



2019活動報告

病室でこどもが、うれしそうに見せてくれたのは、クリニックラウンのサインがたくさん書かれたポストカード。会うたびにクリニックラウンにサインをもらい、一番たくさん会ったクリニックラウンは5回もサインをもらったと自慢そうにみせてくれました。お母さんからは、長期入院だから1か月ごとに来てくれるクリニックラウンの存在がすごくうれしかったこと。そして、退院が決まったから「これまで、本当にありがとう」と伝えてくださったのが印象的でした。

寄付用途について

みなさまからいただいた寄付金は、クリニックラウンの派遣活動の一部に活用させていただきました。2019年度は、全国48病院に288回訪問。新型コロナウイルスの影響の為、2月末から訪問を中止しましたが、9,588名の入院中の子どもたちと関わることができ、こどもたちが病気のことを一瞬でも忘れて、こどもらしく過ごせる「こども時間」を届けることができました。応援してくださり本当にありがとうございました。

近況報告

感染予防の為、プレイルームの閉鎖・院内学級の休校、家族との面会制限など、遊びと学びの機会が制限され、入院中のこどもは、これまで以上にストレスを抱えています。だからこそ、「こども時間」を届けることが大切であると考え、クリニックラウンWEB事業を開始しました。

入院中のこどもたちとビデオ通話機能を使った①クリニックラウンWEB訪問や②YouTubeクリニックラウンチャンネルの配信や、ライブ配信機能を使った③クリニックラウンライブ配信などを行い、入院中のこどもたちをサポートしています。



理事長 河 敬世さん

団体名: 認定特定非営利活動法人 日本クリニックラウン協会

住所: 大阪市北区末広町3-11 天しもビル3F

T E L: 06-4792-8716

活動概要

★入院しているこどもたちが、こども本来の生きる力を取り戻し、笑顔になれる環境をつくる活動を行う

1. 闘病生活を送るこどもの権利を尊重し、クリニックラウン(臨床道化師)に関する事業を行うことにより、こどもの健全育成、保健、医療または福祉の発展に寄与する
2. クリニックラウン養成事業・派遣事業のほかクリニックラウンに関する啓発事業を行う



〒530-0001
大阪府大阪市北区
梅田4-5-25ハピスOSAKA
ウィスタワー22階
ゲンセラブアース倶楽部 寄附

2019年11月7日

日本クリニックラウン協会への活動支援の御礼

拝啓

目下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
この度は、日本クリニックラウン協会にご協力を賜り、誠にありがとうございました。
「寄附金受領証明書」を同封しましたので、ご返送ください。
まだまだ多くの課題がありますが、闘病生活を送るこども達、こども本来の持っている生きる力を取り戻し、笑顔になれる環境の創造を目指して、これからも頑張る所存であります。
今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、会員年会費、レッドノーズ寄付も寄附金控除対象となりますので、「寄附金受領証明書」でお送りしています。
また、会員の皆、ご寄附をいただいた方のお名前は、活動報告書などにて掲載いたします。
匿名を希望される方は、事務局までご連絡ください。
この受領証明書記載の個人情報(氏名、住所、寄附金額、寄附金受領日)は、寄附者の個人情報保護の取扱いに関する事項をスムーズに行うため、大阪府下の住所の方は大阪府及び住所地の市町村に提供します。個人情報の提供について同意されない方は、お申し出ください。

敬具

＜きりとり＞
寄附金受領証明書

2019年10月31日

住所: 大阪府大阪市北区梅田2-5-25ハピスOSAKAウィスタワー22階
ゲンセラブアース倶楽部 様

¥ 200,000 -

上記の金額を受領いたしました。

認定特定非営利活動法人 日本クリニックラウン協会
理事長 河 敬世
〒530-0001
大阪府大阪市北区末広町3-11天しもビル3F

認定活動の番号 大阪府庁市民生活課第16005号
認定年月日 2016/11/29

(注)上記の金額は、当法人の行う特定非営利活動に係る事業に直接関連する寄附金として提供した金額であり、税制上の優遇(法人の10の2割1乗及び同法第11条の2第2項)に該当する特定非営利活動に係る事業に直接関連する寄附金に該当しないことを証明いたします。



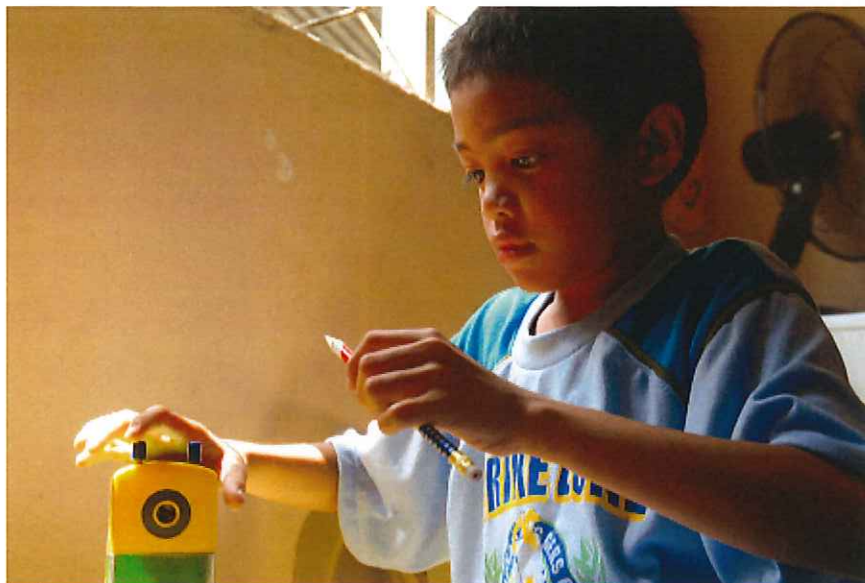
支援先 活動報告

特定非営利活動法人 国境なき子どもたち (KnK)

<https://knk.or.jp>



2019活動報告



非公式教育を受ける少年／フィリピン

子ども支援活動をする中で、2019年一番印象に残った出来事をご報告いたします。

フィリピンの少年アンディは幼い時に父親から虐待を受け、家を飛び出しストリートチルドレンとなりました。行き場を失ったアンディをKnKの「若者の家」で保護したのが3年前。当初は自己否定をしていました。昨年久しぶりに彼に会い自分の宝物は何かと聞いたとき、「時間が経って父親も変わったと思う。僕もここで生活し自信が付いたよ。そんな自分を誇りに思う。今はそんな自分が宝物さ」と答えてくれました。



ドロップインセンターで食事を摂る
ストリートチルドレン／バングラデシュ

寄付用途について

私たちは、フィリピンやバングラデシュなど貧困に苦しむ子どもたちの支援に活用しています。グンゼラブアース倶楽部の皆さまからいただいた寄付金は、下記のような用途に使用いたしました。

- バングラデシュのストリートチルドレン40人に25日間食事を提供
- カンボジアの「若者の家」で暮らす子ども10人に1ヵ月間食事を提供
- フィリピンのスラム地域の子どもたち100人に非公式教育を10週間提供

途上国など世界各地には、生まれ育った家庭や地域が原因で過酷な環境で暮らし、希望ある未来を拓けない子どもたちがたくさんいます。世界中の子どもたちが、少しでも自分の将来を前向きに考えられるよう、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

近況報告

フィリピンのスラム地域の人々はこれまでも日雇い労働などで不安定な収入に依存していましたが、厳しい外出禁止令により収入が絶たれています。子どもたちは警察の目をかいくぐり物乞いなどで家族を支えています。KnKは緊急支援としてスラム地域の家庭に食料品(米、豆、ミルクなど)と衛生用品(マスク、石けんなど)の配給を決定しました。他の国でも支援要請が届いており、実施に向けて調整中です。



理事・広報 清水 匡 さん



特定非営利活動法人 国境なき子どもたち (KnK)
〒161-0033 東京都新宿区下落合4-3-22
TEL: 03-6279-1126 FAX: 03-6279-1127
E-mail: knk@knk.or.jp
www.knk.or.jp

発行日: 2019 (令和元) 年 10 月 31 日
受領日: 2019 (令和元) 年 10 月 31 日

〒630-0001
大阪府大阪市北区梅田 2-5-25
ハービス OSAKA オフィスタワー22 階
グンゼラブアース倶楽部 御中
ご支援者さま番号: 0517

受領者番号: 10181

〒161-0033 東京都新宿区下落合 4-3-22

特定非営利活動法人 国境なき子どもたち
会長 寺田 朗 様

受領書

特定非営利活動法人 国境なき子どもたち (KnK) が行う
世界の恵まれない青少年支援事業への寄付金として、
下記の金額を確かに受領いたしました。

記
金 200,000 円也

国境なき子どもたち(KnK)は東京都知事より認定NPO法人に認定されています。
これにより、明細状へのご寄付は寄付金控除の対象となり、税制上の優遇措置を受けられます。
(認定番号: 26 生都地第 1546 号)

※ご寄付の受領日は明細状への入金日とさせていただきます。
※募金額など不特定多数の皆さまによるご寄付につきましては、税制上の優遇措置の対象外となります。
※受領書の複製発行はいたしませんので、大切に保管してください。
本表に関するお問い合わせ先 TEL: 03-6279-1126 (平日 10:00-18:00)

以上

団体名: 特定非営利活動法人 国境なき子どもたち (KnK)

住 所: 東京都新宿区下落合4-3-22

T E L: 03-6279-1126

活動概要

1. 教育や職業訓練、自己表現の機会を提供し、子どもたちの将来の選択肢をひろげ、その健全な社会参加を後押しする
2. 貧困や紛争、災害で困難な状況にある子どもたちに寄り添い、その成長過程にふさわしい生活を送れるよう手助けする
3. 日本の子どもたちが、世界の子どもの抱える現状を知り、多様な価値観を学び、互いに支え合える次世代を育成する



スーダン共和国オムサマーマ村の給水所



スーダンの政変や、ザンビアの新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き次第、現地にゲンゼの衣料(HOTMAGICなど)が届ける予定です。

近況報告

スーダン・ザンビアともに駐在員は全員一旦帰国し、事業も一時中断となっております。戻り次第、活動が再開できるようローカルスタッフと連絡を取り合いながら、日本でもできる部分を進めているところです。

スーダンにおいては、村落部での新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策が浸透していないこともあり、啓発活動の準備を行っています。



理事長 川原 尚行 さん

団体名:特定非営利活動法人 ロシナンテス

住所:福岡県北九州市小倉北区古船場町1番35号

北九州市立商工貿易会館 7F

T E L: 093-521-6470

■活動概要

1. 貧困や紛争などの課題を有する世界の国や地域に対して、幅広く寄付金および協賛金を募る事業や、医療をはじめとして教育、農業などの活動を通じて国の基盤づくりを手伝う
2. 日本と関係する国々との国際交流の発展に寄与する
3. 大規模災害で被災した人々に対する支援活動を通じて、早期の復興を図る

Y530-0001
大塚製作所 名古屋
御用金66671-ヒス040Aオフィスタワー22階
ワンゼウアース設備部 様へ

西暦2013年10月15日
金曜日 午後 12時55分

債 収 書

特約金として、下記の金額をお支払いとなりました。

合計 100,000円

※得意名義		金額(円)	※元	金額(円)		※元	金額(円)	
品名	数量		品名	数量(円)		品名	数量(円)	
1. 2013-010	104.00	2	3. 3	3	5			
4. 1		3	5. 3	3	5			
7. 1		6	6. 3	3	5			
10. 1		11	11. 11	11	15			
15. 1		17						
18. 1		22						
22. 1		22						
23. 1		22						

[illegible]

支援先 活動報告

特定非営利活動法人 AMDA(アムダ)

<https://amda.or.jp>

AMDA

2019活動報告

私がインド東部ビハール州ブッダガヤにあるAMDAピースクリニックの活動に関わり始めた頃のことをご報告いたします。現地スタッフと一緒に、産後数日のお母さんの家を訪問した際の出来事がとても印象に残っています。

会陰部の痛みが強く起き上がるのもままならない状態だったお母さんの患部を、スタッフが観察した時でした。使用しているショーツとその中に敷いている布が清潔とはいえない状態に驚きました。訪問後、現地スタッフから、中の布はサリー(インドの伝統衣装)のハギレ、ショーツは穴が開いてもずっと使っている、という話を聞きました。今後も必要としている方々への継続的な支援をしていきたいと思います。

寄付用途について

グンゼ様より提供いただいたショーツは、AMDAピースクリニックに通う妊産婦を対象に配布しています。

ショーツの配布は、物資提供に加え、妊産婦の知識向上にも役立っています。

産後の悪露や生理の時には、中に布を敷いて、ショーツを利用します。その際、なぜ清潔な布やショーツを使用する必要があるのか、など感染症予防を含む衛生観念について、妊産婦に伝える機会にもなっています。

近況報告

新型コロナウイルス感染症により、緊急事態宣言が出されているインドでは、自宅隔離政策が3月末より取られてきました。現在はリスクが低い地域から、徐々にインド事業担当 岩尾 智子 さん(左)解除されています。AMDAピースクリニックも閉鎖を余儀なくされたものの、現地スタッフが妊産婦と継続的に電話でコミュニケーションを取りながら、有事の際には現地協力医師に繋ぐ形で、医療支援を継続してきました。6月8日からは、ついにクリニックを再開することができました。多くの妊産婦が経済的な理由で食糧に困窮していることから、野菜と調味料を中心に配布する予定です。

団体名:特定非営利活動法人 アムダ (AMDA)

住 所:岡山県岡山市北区伊福町3丁目31-1

T E L: 086-252-7700

活動概要

1. アジアや中南米において、戦争・自然災害・貧困などにより社会的・経済的に恵まれず、社会から取り残されている人々への医療支援と、生活状態改善のための支援活動を行う
2. 世界32の国と地域にある支部の医師・医学生ネットワークを活かし、多国籍医師団を結成して支援活動を行う



AMDA

Association of Medical Doctors of Asia 特定非営利活動法人 アムダ 国連経済社会理事会国連婦人局 NGO
〒700-0013 岡山県岡山市北区伊福町3-31-1 3-31-1 B1A1chou Kitaku, Okayama City, Okayama 700-0013 Japan
TEL 086-252-7700 FAX 086-252-7717
<http://www.amda.or.jp>

令和元年 12月 7日

グンゼアース倶楽部 御中

受領書

<< 明細 >>		<< 御寄付者名 >>
品名	単位	
紳士 YG ボクサービーツ S	70	グンゼアース倶楽部
紳士 YG ボクサービーツ S	70	"
紳士 YG ボクサービーツ M	30	"
紳士 YG ボクサービーツ L	15	"
男児 2P ボクサービーツ 2枚 150	50	"
女児 2P ショーツビーツ 1枚+ショーツ 1枚 120	50	"
女児 2P ショーツビーツ 1枚+ショーツ 1枚 140	40	"
女児 2P ショーツビーツ 1枚+ショーツ 1枚 150	90	"
女児 2P ショーツビーツ 1枚+ショーツ 1枚 160	80	"
合計:	495 組	

上記を、正に受領いたしました。

〒700-0013 岡山県岡山市北区伊福町3-31-1
国連経済社会理事会国連婦人局
AMDA: 特定非営利活動法人アムダ



支援先 活動報告

公益社団法人 Civic Force (シビックフォース)

<https://www.civic-force.org>



2019 活動報告

10月に発生した台風19号において、レスキューチームはまず長野県に入り、機能不全に陥った病院の患者搬送ミッションに協力。その後、東北や北関東の被災地でも支援物資の調達・配布を続け、現在も復旧・復興支援に取り組む被災地のNPOをサポートしています。災害時の緊急支援活動をより強化するため、2019年末には広島や佐賀のNPOと連携し「空飛ぶ捜索医療団 ARROWS」を設立しました。



寄付用途について

災害時の緊急支援活動をはじめ、いち早く被災地に赴くための体制整備や運営費の一部に活用させていただきました。災害時の緊急支援は、日頃からの備えがとても重要ですが、そのためには資金が必要です。ゲンゼ様には災害が起こるたびにいち早く質の高い下着や靴下などを届けていただいている上、平時から多大なるご寄付を通じて、応援いただき、大変心強く感謝しております。ありがとうございます。



近況報告

ARROWSの一員として、1月に中国へ防護具などを輸送する活動を開始。2月からは国内の医療・福祉施設などへ支援を開始し、4月末までに全国1300機関に140万枚のマスクを届けました。また、院内感染を防ぐため、トレーラーやテントを関西や九州の病院に貸与。要請に応じて、離島の医療搬送支援、クルーズ船や地方病院への医師派遣・物資支援も続けています。復旧・復興の途上にある被災地へのサポートも開始しています。



事務局長 根木 佳織 さん

団体名:公益社団法人 Civic Force (シビックフォース)
住 所:東京都渋谷区富ヶ谷2-41-12 富ヶ谷小川ビル2階
T E L: 03-5790-9366

活動概要

- 1.大規模災害時支援のためのNPO/NGO・企業・政府・行政が連携するプラットフォームの構築
- 2.緊急災害時にパートナーと共同して支援事業を実施する
- 3.アジア太平洋地域と連携し、「アジアパシフィック アライアンス」の活動に参加する

550-0001

大坂市北区富田 2-5-25

ハービス OSAKA オフィスタワー 22 階

ゲンゼアース倶楽部 御中

公益社団法人 Civic Force

〒151-8583

東京都渋谷区富ヶ谷 2-41-12

富ヶ谷小川ビル 2 階

TEL 03-5790-9366

FAX 03-5790-9368

info@civic-force.org

お世話になっております。

今年のご支援賜り誠にありがとうございます。

ご報告。

ご寄付の御礼

この度はシビックフォースの活動へご賛助とご支援を賜り、誠にありがとうございます。私たちの活動を支えてくださる皆様からのお気持ちには本当に大きな力をいただいております。スタッフ一同、心より御礼申し上げます。

私どもの活動や事業内容でお気づきになった点や、ご意見、ご提案などございましたらぜひ事務局までお寄せいただければ幸いです。今後とも、ご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

領収証

ゲンゼアース倶楽部 御中

金 200,000 円也

但し、当法人が行なう公益目的事業への寄付金として、上記正に領収されました。

CIVIC FORCE

2019 年 10 月 30 日

公益社団法人 Civic Force

代表理事 大西 昌彦

東京都渋谷区富ヶ谷 2-41-12 富ヶ谷小川ビル

当団体は、平成 21 年 12 月 15 日より公益認定を受け、公益社団法人 Civic Force となりました。
当団体は、所管法第 78 条第 2 項第 2 号の要件を満たす公益社団法人として法人格を有し、公益目的の事業を行うこととされています。
なお、公益目的における事業活動は、各事業活動およびその目的の達成と密接な関係にある事業のみが認められます。
詳しくは、所管法・法人格・税制等についてお問い合せください。お問い合わせ先は、各事業活動の推進窓口にお問い合せください。

支援先 活動報告

特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル

<https://www.b4s.jp>



近況報告



最近の新型コロナウイルスの感染拡大で、アルバイトをする学生が大きな影響を受けています。特に親を頼れない児童養護施設退所者は、実家というセーフティネットがなく経済的にも精神的にも追い詰められています。孤独感を募らせている人も、収入減で家賃が払えず、家を失う不安に苛まれている人もいます。私たちは「現金給付」「食料品補助」「オンライン相談・交流会」を行い、若者たちの生活の維持や孤立防止に取り組んでいます。

★緊急支援プロジェクト★<https://b4s.jp/entry/relief/>

朝倉 学さん

2019活動報告

一人暮らし準備セミナーには、過去最多の260人の高校3年生からお申し込みがありました。新たなシェアハウスをオープンさせ、熊本県での事業を開始し、支援の輪を広げることができました。団体初のクラウドファンディングでは619万円の資金集めに成功。啓発イベントを初開催し、来場者486人に「親を頼れない若者の声」を届けることができました。応援者のみなさまの心強さと、パワーを感じることであった年でした。



寄付用途について

ご支援いただいたキャミソール、クールネックTシャツ、靴下を子どもたちにプレゼントしました。下着は季節を問わず必要不可欠なもの。彼らの快適な毎日を支えていただくだけでなく、その購入費用は学生なら教科書代に充てたり、社会人なら貯蓄などに充てることができています。親に頼れない多くの子どもにとって、重宝する存在です。改めて御礼申し上げます。



団体名: 特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル

住所: 〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-2

TEL: 03-6842-6766

活動概要

3つの事業を通し、子どもたちがどんな環境で生まれ育っても、夢と希望を持って笑顔で暮らせる社会を目指す。

- 1、キャリアとつながりを軸にした自立支援プログラム
- 2、社会的養護に携わる人がより良い支援を行うための人材育成
- 3、正しい認識と関心を広めるための広報啓発

受領証

グンゼ株式会社
コーポレートコミュニケーション部広報課 御中 2019年 11月 25日

キャミソール(婦人)・クールネックTシャツ(婦人)・ソックス(婦人・紳士)合計500着

但し: ブリッジフォースマイル「築立ちプロジェクト」物品ご寄付 として

上記正に領収いたしました

(住所) 〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-2

パトリックグループ

氏名 NPO法人ブリッジフォースマイル



支援先 活動報告

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

<https://www.savechildren.or.jp>



2019活動報告

皆さまをはじめ、一人ひとりの方のご寄付により、2019年は日本を含む約120ヶ国で3,870万人以上の子どもたちに支援を届けることができました。

日本で、6月に親などによる体罰禁止を明記した改正児童虐待防止法などが成立し、今春から施行となったことは、子どもの権利が実現された社会へ向けた大きな前進であると考えます。

皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。今後ともあたたかいご支援をお願い申し上げます。

寄付用途について

海外では教育や保健・栄養、防災、子どもの保護などの分野における支援活動に加え、紛争や暴力の影響を受ける子どもたち、そして世界中で相次いだ自然災害で被災した子どもたちへの緊急・人道支援活動を世界各地で実施しました。

国内では、台風15号や19号で被災した地域への支援のほか、子どもの貧困や虐待といった、日本の子どもを取り巻く課題解決への活動を進めました。

それらの活動に御社のご寄付を活用いたしました。



©Jordi Matas/Save the Children



©Jordi Matas/Save the Children

(上下とも):ヨルダン・ザータリ難民キャンプで避難生活を送るシリア難民の子どもたち



©Claire Thomas/Save the Children

イラク北部にある難民キャンプで「こどもひろば」の活動に参加するシリア難民の少女。

近況報告

新型コロナウイルスによる影響下においても子どもの育ちや学びを守るために、国内では政府への提言や大人・子どもへの情報発信、全国の学童保育を対象に活動支援金を提供する活動を実施しました。また、「ひとり親家庭応援ボックス」として食料や遊具などの提供を行っています。海外では、特に、困難な状況で生活する子どもたちが多くいる地域を優先し、保健・栄養、食料・生計、水・衛生、教育などの分野で活動を実施しています。



専務理事・事務局長
三好 集 さん

団体名:公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
住 所:東京都千代田区内神田2-8-4 山田ビル4F
T E L: 03-6859-0070

活動概要

★すべての子どもにとって、生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」が実現される世界を目指して活動する。

★日本を含む世界120ヶ国でおよそ4,000万人の子どもを支援しています。
(2018年)

No. 0029919
〒530-0001
大阪府大阪市東区南船場 2-5-25 パールビル503号 オフィスタワー25F

Save the Children
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
代表理事 三好 集
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
TEL: 03-6859-0070 FAX: 03-6859-0071
E-MAIL: save-the-children@save-the-children.or.jp

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より御会社様へのご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。
このたびはご寄付のご入金を頂き、心より感謝申し上げます。随時お送り致しますので、ご査収下さいませ。
頂きましたご寄付は、子どもたちのための支援活動に大切に使用させて頂き、今後ともあたたかいサポートを頂きますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

No. 0031019275
2019年10月31日

ダンゼラブアース倶楽部 様

領収証
¥200,000
上記の金額を支払金として領収しました。

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

代表理事 三好 集
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン代表理事 三好 集の署名は有効な印と見做されます。

支援先 活動報告

一般財団法人 みらいこども財団

<https://miraikyouso.com>



2019活動報告

2019年度は大阪から東京に活動の拠点を広げることができました。現在は東京・神奈川・大阪・京都・兵庫の28の児童養護施設の子どもたちを支援させていただいています。毎月の施設訪問は40回以上、1500人以上の子どもたちを笑顔にすることができました。また内閣府が主催する子どもの未来応援基金の採択団体に選ばれることができました。



未来こども財団の皆さんからはビデオレターもいただきました。



寄付用途について

2019年度は茨木子供の家と救世軍希望館という児童養護施設さんの子どもたちにグンゼさんの肌着をプレゼントさせていただきました。施設の子どもたちは自分のおこづかいの中から下着を購入しなければならないのでとても喜んでくれました。高級品の肌着を使うのがとっても楽しみだと子どもたちは言ってくれました。

近況報告

北海道から沖縄まで600の児童養護施設に電話をかけて必要な物資がないかどうかヒアリングを行い、1万枚のマスクを児童養護施設にお送りすることができました。また全国の一般の方向けに「貧困と虐待」についてのオンラインセミナーをスタートさせ、毎月100人以上のひとに参加していただいています。



受領書

令和元年 11月 18日

グンゼラブアース倶楽部様

一般財団法人みらいこども財団
代表理事 谷山 尚菜

肌着 280枚

上記を確かに受領いたしました。

団体名:一般財団法人 みらいこども財団
住 所:大阪市北区堂島浜1-1-15
T E L: 06-6344-3345

■活動概要

1. 貧困と機会差別をなくす
2. 多くの人々が優しくなる機会を創造する
3. 誰もが自分の5%を社会にシェアできるしくみをつくることで、世界を変える
4. 虐待や育児放棄で苦しむ子供たちを支援する

支援先 活動報告

大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 みどり企画課

<http://www.pref.osaka.lg.jp/midorikikaku>

寄付用途について

堺市臨海部の廃棄物処分場跡地(堺第7-3区の共生の森)において、3月に行われる「共生の森植樹祭」で使用する樹木の寄付を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、イベントは中止となりましたが、大阪府にギブシ 100本を寄付いたしました。

団体名:

大阪府 環境農林水産部

みどり推進室 みどり企画課

住 所:大阪市住之江区南港北1丁目14-16

T E L: 06-6210-9557



グンゼラブアース倶楽部としての支援は、2019年度をもって終了となりますが、大阪府の緑化事業に対しては、引き続き、包括連携協定のひとつとして会社全体で協力いたします。

その他CSR活動

災害支援【令和元年台風第19号】



10月12日に日本に上陸した台風第19号は、関東地方や甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらしました。

10月14日緊急災害対応アライアンス「SEMA(シーマ)」の支援要請を受け、10月16日に肌着とソックス、タイツなどを長野県内の避難所3カ所に出荷しました。

そのほかラブアース倶楽部で支援している「特定非営利活動法人アムダ(AMDA)」より保温肌着及び靴下の要請があり、10月28~29日に宮城県丸森町の丸森小学校内にある避難所に出荷したほか、11月5~6日には丸森まちづくりセンター避難所、館矢間小学校避難所にも出荷しました。

寒さが厳しくなる環境で避難生活を送られる避難者の方にとってグンゼの温かい肌着の配布は非常に喜ばれ、中には受け取るとすぐに着用される方もいたそうです。また配布翌日には、「ものすごく暖かくて助かりました。」という感謝の声も届いています。



アイテム	数 量	出荷日	届け先
肌着(紳士・婦人・子供)	4,010枚	10/16	長野市立 豊野西小学校 避難所 長野県 賛育会クリニック 避難所 長野県 小布施町役場 避難所
肌着(紳士・婦人)	300枚	10/28	宮城県 丸森小学校 避難所
靴下(紳士・婦人)	300足	10/29	
肌着(紳士・婦人)	270枚	11/5	宮城県 丸森まちづくりセンター 避難所
靴下(紳士・婦人)	50足	11/6	宮城県 館矢間小学校 避難所



大阪市との包括連携協定を締結



3月24日、大阪市庁舎においてグンゼと大阪市は、健康・医療、スポーツ振興、環境、こどもの健全育成など10分野にわたる包括連携協定を締結しました。

グンゼはこの協定に基づき「がん啓発キャンペーン」「スポーツ振興イベント」「御堂筋の環境保全」「こども用肌着の提供」など事業を通じた地域の活性化に努めます。



記者会見の様子

締結式が行われた3月は、大阪府内でも新型コロナウイルス感染者の増加傾向にある時期で、式を予定通り開催できるのか不安でした。

会場となる大阪市庁舎には、「できるだけ人混みを避けましょう」と書かれた記者会見用ボードがあるなど緊張感に包まれていました。

「密」を避けるためにも、多くの記者が詰めかけるわけにもいかず、大広間で行われた締結式に出席できるのは関係者のみ。ソーシャルディスタンスを保ちながら行った今回の締結式は今までと雰囲気は異なるものでした。



包括連携協定の内容

分 野	主 な 活 動 内 容
健 康 ・ 医 療 に 関 す る こ と	「がん啓発キャンペーン」の実施・すこやかパートナーへの登録 など
ス ポ ー ツ 振 興 に 関 す る こ と	スポーツ振興イベントや講師派遣の協力 など
環 境 に 関 す る こ と	御堂筋の環境保全に関する協力 など
こどもの健全・育成に関するこ と	こども用肌着の提供・「こども肌着教室」の実施 など
市民生活の安全・安心に関するこ と	災害救助物資の供給・「こども110番」事業への協力 など
福 祉 に 関 す る こ と	認知症高齢者見守りネットワーク事業への協力 など
就労支援・雇用促進に関するこ と	「大阪ハートフル商店街」事業の広報協力 など
市民活動の推進に関するこ と	市民活動推進への協力 など
区政・市政のPRに関するこ と	市内店舗を活用した区政・市政のPRへの協力 など
その他、市民サービスの向上及び地域の活性化に関するこ と	



文化・スポーツ振興プロジェクト

グンゼは2018年から「グンゼ文化・スポーツ振興プロジェクト」を推進し、世間で関心が高まる分野に対し、長期的なスタンズでの支援を目的とした取り組みにより、顧客満足と企業価値向上を目指していきます。

女子アルペンスキーヤー 安藤 麻(あんど う あさ)選手 2019-2020 シーズン競技成績

11月30日、12月1日とアメリカ・キリントンにて開催されたワールドカップでは「スラローム」で2本目に進出。自身ワールドカップ最高位となる18位を記録しました。

続く12月27、28日に北海道・阿寒で開催された全日本選手権アルペンスキーの「女子大回転」「回転」においていずれも優勝し2冠を達成。国内での第一人者として着実に進化されていることが証明されました。

その後スウェーデン・オーレで3月12日から3日間行われるワールドカップは新型コロナウイルスの影響で中止となり、それ以降の国内外の全てのレースも中止が決定。シーズン最後にもう1度頑張りたい気持ちもあったそうですが、年間通して過去最高の結果を出せ、充実した日々を過ごす事ができたのは温かい応援やご支援があったお陰とメッセージをいただきました。

着実に北京五輪での上位入賞に向けて進んでいる安藤選手に熱いエールをお願いします。



★女子アルペンスキーヤー 安藤 麻(あんど う あさ)選手の競技生活を支援



グンゼの本業を活かした持続可能な支援(CSV)の考え方を取り入れ、自社製品による支援を行っています。

今年は2019秋冬アパレル総合展示会に来られた時「カワイイ!」と絶賛していた Tuché LACY AIR ブラレットを始めヨガウェアやadidasなどを中心に支援しました。

特に喜ばれたのは薄くてフィットする「はらまき」。夏でも雪山でスポーツをする安藤選手にとって手放せないアイテムなのだそうです。

安藤選手に届いた商品はブログなどでも紹介いただいています。

安藤選手のオフィシャルブログより

スポンサーのグンゼ株式会社様よりプレゼントが届きました。

スポブラやスパッツなど、これからのオフトレで大活躍なアイテムだけでなく、ナイトブラなども送っていただきました。

全部可愛いから、モチベーションも上がります。ありがとうございました!

①2冠達成した時の安藤選手 ②年賀状も頂きました

③外出する際もスポンサーロゴの入ったジャンパーを着用 ④ブログにも掲載されたグンゼのインナー

緊急事態宣言後は実家の北海道に帰省し、今出来る範囲のトレーニングとして、有酸素運動をメインに行っているとのこと。走るのはもちろんですが、スキー場を登山してみたり、自転車で130km、150kmくらい乗って糠平や阿寒まで行ってみたり、人生初のクロカンに挑戦してみたり。その他女子力を上げるために料理にも挑戦しているそうです。



文化・スポーツ振興プロジェクト

★ユースシアタージャパン(株)と業務資本提携契約を締結

グンゼは「グンゼ文化・スポーツ振興プロジェクト」の一環として、6月5日、廣地社長とグンゼスポーツ・廣江社長の立ち合いのもと、ユースシアタージャパン株式会社(本社:兵庫県西宮市)との業務資本提携に関する契約を締結いたしました。

ユースシアタージャパンは、8,000名のメンバーと300名以上のスタッフが在籍する劇団であり、国際交流推進、社会貢献、健全な青少年育成を理念として活動しています。本提携はグンゼのブランド価値向上に繋がると共に、グンゼスポーツのスクール事業との連携などでのシナジーが見込まれます。

業務提携効果を最大限に発揮できるよう、ユースシアタージャパンの応援もよろしくお願いします。



10月6日、グンゼタウンセンターつかしのカリヨンガーデンでグンゼスポーツスクールの演技披露を行いました。チアダンス・新体操・体操に加えユースシアタージャパンの生徒たち総勢100名以上が歌って踊って華麗なパフォーマンスを行い観客を魅了しました。



2月16日、グンゼスポーツ吹田健都店のあるビエラ岸辺健都1階広場で、ユースシアタージャパンの発表イベントが開催されました。メンバー25名が笑顔でダンスや英語の歌を披露し、会場を盛り上げました。

毎年春にユースシアタージャパンが主催しGUNZEが協賛している日本最大級のダンスコンテスト「Japan Youth Dance festival 2020」。

全国から子供達が集い、競い合うダンスの祭典で今回で9回目を迎える予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大が一段落し、みなさまにご理解をいただける状況になるまで延期が決定しています。



★劇団四季「こころの劇場」公演をサポート

「こころの劇場」は、全国の小学生に対し生命の大切さ、人を思いやる心、信じあう喜びなど、人が生きていく上で大切なものを、舞台を通じて語りかけたいという想いのもと上演されています。2008年から活動を実施し、2019年度は『カメに飛ぶことを教えた猫』、『はだかの王様』のファミリーミュージカル2作品を上演。日本全国で、計166都市422回公演、総計約53.5万人の子どもたちが観劇する社会貢献活動です。グンゼはこの活動に賛同し、2018年からボランティアスタッフとして参加しています。

今年は11月19日の大阪公演と、1月17日の京都府公演で、劇場前の道路の交通整理や、受付業務、会場整備などを行い、子どもたちが安全に観劇できるようにサポートをしました。



その他CSR活動



御堂筋におけるイチョウの供給などに関する協定

御堂筋のイチョウ並木を健全に保存し後世に伝えていくことを目的として、12月10日に大阪市と「御堂筋におけるイチョウの供給などに関する協定」を締結しました。研究所(綾部)敷地内にイチョウを10本植樹し、育成しています。



上) 2020.01撮影 下) 2020.05撮影



「御堂筋におけるイチョウの供給などに関する協定」とは

平成30年9月に襲来した台風21号による御堂筋のイチョウ並木の甚大な被害を鑑み、御堂筋のイチョウ並木を健全に保存し後世に伝えていくことを目的とした協定が結ばれました。これに基づき、グンゼはイチョウの植樹、育成を行い、大阪市からの要請に対して可能な限り無償でイチョウを提供します。

イチョウには雄と雌があり、潰れた銀杏の二オイや歩道の汚れが問題になるため「街路樹には、実が落ちない雄の木」が好まれています。しかしながら、確実に見分けるには「花(実)」を見ないとわからないそうです。



里山保全活動

★京都モデルフォレスト運動

グンゼが京都府、社団法人京都モデルフォレスト協会、綾部市などと「森林の利用保全に関する協定」を締結して10年目という節目であり、2018年8月から始まった「小畑城跡再生プロジェクト」の最終章である2019年度。

階段づくりや頂上整備、景観伐採に加え、サクラの植樹と獣害対策などの作業を行いました。グンゼグリーン株式会社や京都府立林業大学校、森林ボランティアのご指導と地元の方々のご協力によって、無事4本の桜を植えることができました。2020年4月には、桜の花見会を楽しみにしていましたが、残念ながら新型コロナウイルスの影響で中止になりました。

京都モデルフォレスト運動 in 綾部

日程	回数	開催地区	参加人数	活動内容
4/13	第32回	小畑地区	30名	小畑城参道整備(登り口の階段整備と山頂の雑木伐採)
5/25	第33回	小畑地区	57名	小畑城参道整備(登り口の階段整備と山頂の雑木伐採)
10/5	第34回	小畑地区	22名	小畑城参道整備・植樹のための現地調査
11/2	第35回	小畑地区	51名	サクラ植樹(4本)・害獣対策





福島復興支援

★福島ひまわり里親プロジェクト

福島ひまわり里親プロジェクトとは、東日本大震災後の2011年5月から始まり、福島県で復興のシンボルひまわりを咲かせることによって、雇用・教育・観光に繋げ、また、日本全国と福島の『絆』を深めるプロジェクトです。グンゼもこの活動に2012年より参加しています。GUNZE Times(イントラネット)には花壇の整備や種まきから収穫まで、たくさんの成長記録レポートを寄稿いただきました。

2019年は長雨による日照不足や大型台風10号の被害などの心配もありましたが、30の事業所から参加申し込みがあり、41.8kgもの種を収穫し福島へ送ることができました。ありがとうございます。

「ひまわり里親プロジェクト」を通して、インターナショナルスクールの園児たちと種まきを行ったつかしん、さくらんぼ保育園『ひまわり組』と種まきを行った山梨物流、近隣施設と共同で「あやべひまわりんピック」を開催した綾部本社など地域社会と一体となった活動が活発になることは大変喜ばしいことです。

今後も多くの従業員が楽しめるプロジェクトになればと願っています。



※ 2020年度の活動は「3密」を避け、新型コロナウイルス対策を講じて行ってください。



ピンクリボン活動

★「行きましょう!乳がん検診」ピンクリボンキャンペーン開催

京都府および大阪府と締結した包括連携協定に基づき、10月13日 京都ゼスト御池、10月14日 大阪なんばウォークにて「行きましょう!乳がん検診」のイベントを開催しました。乳がん検診率が京都府・大阪府ともに他県と比べて低いため、乳がんに関する意識を高めていただくためのイベントです。会場では「乳がん触診モデル」を8台配置し実際にしこりの感触を体感していただきました。そのほか術後のQOLを向上させる「メディキュア」商品の紹介ブースも設置しました。

京都会場では京都府広報監の「まゆまる」、綾部市のマスコットキャラクター「まゆピー」が、大阪会場では大阪府広報担当副知事の「もずやん」、なんばウォークのマスコットキャラクター「なんばワン」なども参加し記念撮影で会場を盛り上げました。

両モールに出店している「cocochi select by GUNZE」のショップでは「行きましょう!乳がん検診」チラシ提示のお客様先着100名の方に「Tuché」フットカバーがもらえるキャンペーンも実施。多くの買い物客が足をとめてくださり、両会場共に大変賑わいました。



その他CSR活動



グンゼの肌着教室

2016年度よりスタートした「グンゼの肌着教室」では「肌着を着よう!～汗の役割と肌着の効果～」と題し、子どもたちに肌着の大切さを伝えています。2019年度は50人以上の生徒を一堂に授業を行う試みを始め、10校で472名に対し授業を実施しました。

2019年度 活動実績

実施日	開催場所	参加人数
2019/6/19	兵庫県尼崎市 尼崎市立七松小学校 5年生、特別支援学級生	74名
7/26	京都府福知山市 大江放課後児童クラブ 小学1～5年生	30名
7/31	京都府福知山市 六人部放課後児童クラブ 小学1～6年生	70名
8/5	京都府福知山市 佐賀放課後児童クラブ 未就学児、小学1～6年生	13名
8/7	京都府相楽郡精華町 京都大和の家 小学1～6年生	15名
8/8	京都府福知山市 庵我放課後児童クラブ 小学1～6年生	32名
8/22	京都府福知山市 遷喬放課後児童クラブ 小学1～6年生	102名
8/27	京都府福知山市 昭和放課後児童クラブ 小学1～6年生	90名
2020/1/16	奈良県奈良市 奈良市立左京小学校 教員、保護者	23名
2/7	大阪府八尾市 八尾市立八尾小学校 理科クラブ(小学4～6年生)	23名



「京都府の移住セミナー」会場提供

京都府との地域活性化包括連携協定に基づき、京都府が年間50回以上開催する移住セミナーの会場として大阪本社の会議室を提供しました。

セミナーは、グンゼに縁のある亀岡や綾部・福知山といった地区への移住希望者を対象に、各自治体の担当者による地域や移住者の紹介、ゲストスピーカーとして実際に移住して生活を営んでいる方々の地域との関わりに関する経験を聞くなど、地域スタッフと情報交換ができる約2時間の場となっています。

いずれの回も和気あいあいとした雰囲気で行われ、移住に対する不安や心配が取り除かれたようでした。

2019年度 実績

実施日	開催内容	対象地区
8/7	仕事も、家も、暮らしもつくる。～身近に「つくる」がある暮らし～	亀岡市・南丹市・京丹波町
11/9	自分の好きから楽しく地域をつくる	綾部市・福知山市
1/15	移住って、なにからはじめるの? ～京都丹波・移住の入り口探し編～	亀岡市・南丹市・京丹波町



その他CSR活動



もったいない活動

日本では、2000年(平成12年)から3R(※)の考えを導入しています。ごみ問題や温暖化問題の対策には、増え続けるごみの量を抑制し、温室効果ガスの排出を削減し、資源・エネルギーの節約をすることが大切です。

グンゼも普段の生活から実践できる活動として古切手の回収やアルミ缶・ペットボトルのキャップなどのリサイクルを推奨しています。

※ REDUCE(リデュース/減らす)・REUSE(リユース/再利用)・RECYCLE(リサイクル/再利用)の3つの“R”のこと

種 別	実 績	(前年比)	送付先
プルタブ・アルミ缶	44.8kg	(117%)	地域自治体・リサイクル業者
エコキャップ	1,455kg	(120%)	イオンなどスーパーの回収ボックス など
使用済み切手	7,543g	(142%)	社内便にて広報IR室へ送付

できる限り送付コストのかからない地域自治体やスーパーの回収ボックスなどの活用をお願いします。
構成員が直接持ち込んだ(回収ボックスなど)数量についても管理できる範囲で報告対象となります。



「国連グローバル・コンパクト」に署名

2月24日、国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト」(以下「UNGC」)に署名し、参加企業として登録され、日本におけるローカルネットワークである「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン(以下、GCNJ)」に加入いたしました。

UNGCとは戦後世界が合意形成してきた共通価値観を平易な10原則にまとめ直し、これを内外のステークホルダーに浸透させる活動を通して、「健全なグローバル化」「持続可能な社会」を実現させようとする国際的な取り組みのことで、世界で約14,000企業・団体が、日本では354企業・団体がUNGCに署名しています。

グンゼはGCNJに加入することで、より一層のSDGsの実現を目指した活動を進めていく方針です。



オレンジリボン運動

グンゼは京都府との地域活性化包括連携協定に基づきオレンジリボンキャンペーンを応援しており、今年は綾部・宮津・福知山・亀岡の各事業所と直営店でオレンジリボンのピンバッジと冊子を配布しました。

「オレンジリボン運動」は、子ども虐待防止のシンボルマークであるオレンジリボンを広めることで、子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。オレンジリボン運動を通して子どもの虐待の現状を伝え、多くの方に子ども虐待の問題に関心を持っていただき、市民のネットワークにより、虐待のない社会を築くことを目指しています。



子ども虐待防止
オレンジリボン運動



シングルマザーの応援フェスタ2019

9月21日、大阪のドーンセンターで「シングルマザーの応援フェスタ2019」が開催されました。白井(前)社外取締役が理事を務めるドーン財団が主催したイベントで、いつも頑張っているシングルマザーの皆さんが同じ立場の女性と語り合う機会や、寄贈スーツなどをプレゼントするコーナーを設けたものです。

通勤・面接などに活用できる衣類や靴などをグンゼ従業員の皆さんに募集したところ、スーツを含む109点が集まりました。ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

当日は、ひとり親家庭に育った若者を招いての座談会や、全日空OG会有志を交えたワークショップなどを実施。参加者は昨年を大きく上回る85名に上り、お母さんと子供たちで部屋は活気に満ちあふれました。



★ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



★SABRINA ストッキングとアルガンオイル配合インナーをプレゼント



平素より、当倶楽部の活動にご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

2020年度も引き続きご協力いただけますようよろしくお願いします。

グンゼラブアース倶楽部は随時新規会員を募集しています。

一人でも多くの方々に活動のご理解がいただけるよう、皆さまお声がけをお願いします。